

2. 事業の目的と概要	
(1) 事業概要	<p>本事業は、コンボンチャム州ストゥントロン保健行政区の保健センタースタッフと村のボランティア（保健ボランティアと母子保健ボランティア）が支援ネットワークを形成し、地域の子どものケアに関する知識普及や実践促進を行うことにより、5歳未満児の予防可能な死亡を削減しつつ、子どもの健康な成長発達が促進されることを目的とする。発育阻害が多い地域でもあるため、保健センターでの予防接種、成長モニタリングなどの健診や小児疾病管理の保健サービスを提供できる体制づくりをコミュニティの参画のもとに推進する。子どもの栄養改善など健康増進や疾病予防に対する地域住民の関心を高めて家庭でのケア実践の増進を狙う。</p> <p>The main purpose of this project is to eliminate preventable death of under-5 children and promote healthy development of children in the target area through networking among health center staff, and volunteers in communities called Village Health Support Group (VHSG) and Community Care for Mother and Newborn (CCMN). There are many stunted children in the target area and it is important for each child to take growth monitoring and receive health advices as well as vaccination. Sick children are to receive proper diagnosis and treatment at Health Center. Community involvement is necessary to facilitate the process for better health care for children at health facilities as well as at home.</p>
(2) 事業の必要性と背景	<p>(ア) 事業実施国における一般的な開発ニーズ</p> <p>カンボジア王国は 2015 年に世界銀行が定める低中所得国に昇格し、東南アジアで経済発展著しい国であるが、開発が都市部に集中し、都市部と農村部、富裕層と貧困層との格差が非常に大きい国である。貧困率が 2007 年の 47.8%から 2014 年には 13.5%と大幅に減少したが、貧困層の 90%は農村部に取り残されている状態である (World Bank, 2019)。</p> <p>カンボジア政府は、和平協定が結ばれて後、内戦で崩壊した医療制度を復興し、母子保健の改善を最優先課題として取り組んできた。その結果、ミレニアム開発目標の保健指標を達成し一定の改善がなされているが、妊産婦死亡率や新生児死亡率は周囲の ASEAN 諸国と比較すると高く、子どもの健康においては、予防可能で確立された治療法がある呼吸器系や下痢等の感染症による死亡や、栄養不良の割合が高い。</p> <p>これらの保健課題に対して、カンボジア保健省「保健戦略計画 2016-2020」は、利用者に大きな経済的な負担を負わずに、よりよい保健サービスをすべての国民に効率的に提供することを目指している。母子保健対策の中では、母と子の死亡と栄養不良の減少がターゲットになっており、5歳未満の子どもの健康に関しては、下痢や呼吸器系感染症の対策として新生児および小児疾病統合管理 (Integrated Management of Newborn and Childhood Illnesses: IMNCI) や予防接種へのアクセスの向上、また、栄養不良の対策として効果的な栄養サービスへのアクセスの向上が優先課題として挙げられている (Ministry of Health, 2016)。</p> <p>(イ) 事業地でのニーズ</p> <p>当団体は 2014 年から 2018 年にかけて、事業対象地において、妊娠・出産・産後期</p>

の「継続ケア」における妊婦を中心に、保健センターでの母子保健サービスの質を向上させるとともに、母親や村びとの保健知識を向上させながら、保健サービスの利用を促進する支援活動を実施してきた。

事業を実施する中で、5歳未満の子どもの健康に関する問題が浮き彫りになってきた。具体的には、完全母乳育児期が終わり、補完食が始まる6ヶ月を境に、栄養不良の割合が有意に増加し、特に1歳から2歳未満の男児では26.0%が低体重で19.5%が低身長であることが確認された(岩本、2016)。

地域の保健センターにおける主な子どもの保健・栄養対策としては、定期的な身体測定モニタリング、栄養指導、予防接種と病児への適切な診断・治療が定められている(Minimum Package of Activities)。しかし、小児の外来患者は小児疾病統合管理(IMCI)を受けていることが報告されているが、保健センタースタッフに対するIMCIの再教育は長らく実施されておらず、保健行政区による指導や監督も十分に実施されていないことから、実際のサービスの質が疑われる。また、子ども用健康カード(通称、イエローカード)でも、多くの場合、予防接種は記録されている一方で、身体測定の記録は抜け落ちている。

これらの課題に対して、子どもの栄養状態を改善し、5歳未満の子どもの死亡率の削減につなげるためには、出産後の母子の検診受診や5歳までの定期的な身体測定が徹底され、かつ家庭での摂食行動を改善する必要がある。また、感染症が子どもの低栄養を招く原因になるため、5歳までの病児は適切なケアを適切なタイミングで受診することが重要である。そのためには、保健センターにおける母と子の保健サービスの質の向上と、母親の病気や成長に関する適切な知識の向上と実践が必要である。

(ウ) これまでの事業の成果・課題

当団体のカンボジア・プログラムは、事業期間を4年として、自己資金により2018年10月に開始した(本事業の第1年次事業は2019年10月から開始)。これまで、保健ボランティアと母子保健ボランティアの育成、ボランティアによる家庭訪問や保健教育活動の実施、保健センタースタッフへのIMCIおよび子どもの成長促進(Growth Monitoring and Promotion: GMP)の研修の支援、保健行政区スタッフによる保健センターのモニタリングの実施、保健センターの備品管理のインベントリの導入、ボランティアと保健スタッフとの定期会合の支援等に取り組んできた。

能力強化研修や技術監督の実施により、保健センタースタッフの能力やスキルが向上している。それに伴い、保健センターに対する地域住民からの評価や信頼も高くなっているようである。しかし、保健センターにおけるスタッフの欠員や病欠等の際に、保健センターの能力では対応できないことや、保健センター間で能力の違いが見られる等の課題も浮き彫りになってきた。保健行政区と連携してニーズを明らかにし、リソースを戦略的・効率的に投入していく。

また、保健サービスの中でも、特にPNC受診を促進し、受診記録を適切に管理するための支援を強化する。保健センタースタッフとボランティアが連携しながら、村びとに対するPNCの大切さの啓発活動を継続する。併せて、保健行政区から保健セ

	<p>ンターに対して、再度、PNC ガイドラインの指導と周知徹底を行ったり、クボッタゴン保健センターだけではなく、他の保健センターの産後ケア室の環境改善にも取り組む。</p> <p>ボランティア中心の定期会議では、ボランティアと保健センタースタッフ間で、様々な情報の共有が行われている。具体的には、村びとの健康状態、流行りの疾病、健康上に問題がある村びとの情報などが共有される。また、定期会議では、ボランティアから村びとの健康問題などの質問をし、保健センタースタッフからボランティアとしてどのように対処していくかなどの助言や説明を提供する。そのため、ボランティアが保健や栄養に関する知識を向上させるよい学習の機会として活かされている。さらに、ボランティアは村びとの声を反映し、保健センターをどのように改善するかなどの意見を出す場となっている。引き続き、ボランティアと保健センターとの意思疎通をはかりながら、更なる連携の強化を促していく。一方で、保健ボランティアおよび母子保健ボランティアの定期会議への出席率を高める取り組みが必要である。保健センタースタッフと村長がリーダーシップをとり、保健ボランティア・母子保健ボランティアの意義や社会的認知の向上を目指していく。</p> <p>参照)</p> <p>1. World Bank, Overview of Cambodia (2019)</p> <p>2. Ministry of Health, Cambodia, Health Strategic Plan 2016-2020 (2016)</p> <p>3. 岩本、他、「カンボジア国コンポンチャム州における子どもの慢性低栄養の男女差」(2016)</p>																								
	<p>●「持続可能な開発目標(SDGs)」との関連性</p> <p>本事業は、「持続可能な開発目標(SDGs)」の目標3「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」の達成に資する事業である。特に「ターゲット3.2: 新生児死亡率、5歳未満死亡率を減少」、「ターゲット3.8: ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)達成」に草の根レベルで取り組む。</p> <table border="1" data-bbox="295 1310 1356 1579"> <thead> <tr> <th>ジェンダー平等</th> <th>環境援助</th> <th>参加型開発/ 良い統治</th> <th>貿易開発</th> <th>母子保健</th> <th>防災</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0:目標外</td> <td>0:目標外</td> <td>0:目標外</td> <td>0:目標外</td> <td>2:主要目標</td> <td>0:目標外</td> </tr> <tr> <td>栄養</td> <td>障害者</td> <td>生物多様性</td> <td>気候変動(緩和)</td> <td>気候変動(適応)</td> <td>砂漠化</td> </tr> <tr> <td>2:主要目標</td> <td>0:目標外</td> <td>0:目標外</td> <td>0:目標外</td> <td>0:目標外</td> <td>0:目標外</td> </tr> </tbody> </table> <p>●外務省の国別開発協力方針との関連性</p> <p>重点分野(中目標)の「(2)生活の質向上」に合致。</p> <p>●「TICAD VIおよびTICAD 7における我が国取組」との関連性</p> <p>本事業はアフリカでの事業ではないため、関連性は高くない。</p>	ジェンダー平等	環境援助	参加型開発/ 良い統治	貿易開発	母子保健	防災	0:目標外	0:目標外	0:目標外	0:目標外	2:主要目標	0:目標外	栄養	障害者	生物多様性	気候変動(緩和)	気候変動(適応)	砂漠化	2:主要目標	0:目標外	0:目標外	0:目標外	0:目標外	0:目標外
ジェンダー平等	環境援助	参加型開発/ 良い統治	貿易開発	母子保健	防災																				
0:目標外	0:目標外	0:目標外	0:目標外	2:主要目標	0:目標外																				
栄養	障害者	生物多様性	気候変動(緩和)	気候変動(適応)	砂漠化																				
2:主要目標	0:目標外	0:目標外	0:目標外	0:目標外	0:目標外																				
<p>(3) 上位目標</p>	<p>コンポンチャム州の5歳未満の子どもの死亡率・罹病率が減少し、健やかな成長発達が達成される。</p>																								
<p>(4) プロジェクト目標 (今期事業達成目</p>	<p>村の養育者たちの小児ケアや子どもの摂食行動に対する意識が向上し、保健センターとコミュニティとの連携で適切なタイミングで子どもが小児保健サービスにアクセスできる。</p> <p>今次の目標 保健センタースタッフ、保健ボランティア、母子保健ボランティアが連携をより</p>																								

標)	強化し、保健センターでの保健サービスの提供とコミュニティでの保健教育の実施を効果的に行えるようになる。
(5) 活動内容	<p>本事業はストウトロン保健行政区の 12 の保健センターの内 4 つの保健センター（クポッタゴン、アレアッタノー、ピアムゴッスナー、オームルー）を対象とする。</p> <p>1. 保健センターでの適切な子どものケアサービス提供のための施設が整備される 保健センターの産後ケア室を増改築あるいは修繕し、出産後の母子が、産後検診と新生児健診を継続的（48 時間）に受けるための設備を整える。併せて、子どものケアに必要な医療機器を供与し、適切なケアを提供するための保健センターの設備を整備する。</p> <p>（活動 1-1）保健センターの産後ケア用施設・医療機器の整備 1-1-1. クポッタゴン保健センターの産後ケア室の増築（第 1 年次事業で完了） 1-1-2. ピアムゴッスナー保健センターの一部改築と産後ケア室の修繕（今次事業） 1-1-3. 保健センターの産後ケア室の利用状況のモニタリング（今次事業） 1-1-4. ピアムゴッスナー保健センター、オームルー保健センター、アレアッタノー保健センターの産後ケア室のベッド・家具、産後・小児用医療機器の供与（今次事業）</p> <p>（活動 1-2）小児用医療機器の管理目録（インベントリ）のモニタリング（今次事業も継続）</p> <p>2. 保健センターでの子どものケアの質が向上する 保健センターの小児担当スタッフが病児や健康児に適切なサービスを適切なタイミングで提供するために、保健行政区スタッフが技術指導を行う。また、保健センターがチームとしてサービスを提供するための運営について話し合うスタッフ会議を支援する。PHJ は会議の開催準備のチェック及び会議でのファシリテーションスキルのモニタリングを行い、改善点をフィードバックすることで、保健行政区スタッフによる管理監督能力を強化する。</p> <p>（活動 2-1）保健センター内連携強化のためのスタッフ会議支援（今次事業も継続） PHJ は会議の開催準備のチェック及び会議でのファシリテーションスキルのモニタリングを行い、改善点をフィードバックする。</p> <p>（活動 2-2）子どものケア・疾病管理技術向上促進 2-2-1. 保健行政区スタッフによる出産後の退院前カウンセリング（PNC）の技術確認と指導（今次事業も継続）PHJ は、保健行政区スタッフの技術確認と指導の状況を、技術チェックリストをもとにモニタリングし、改善点をフィードバックする。 2-2-2. 保健行政区スタッフによる保健センター小児科担当スタッフの GMP の技術確認と指導（今次事業も継続）PHJ は、保健行政区スタッフの技術確認と指導の状況を、技術チェックリストをもとにモニタリングし、改善点をフィードバックする。 2-2-3. 保健行政区スタッフによる保健センター小児科担当スタッフの IMCI の技術確認と指導（今次事業も継続）PHJ は、保健行政区スタッフの技術確認と指導の状況を、技術チェックリストをもとにモニタリングし、改善点をフィードバックする。 2-2-4. 保健行政区および保健センタースタッフを対象とした GMP および IMCI に関する再研修支援（今次事業）</p>

(活動 2-3) 保健行政区における小児科チーム連携(PCAT)会議を支援(今次事業)
PHJ は会議の開催準備のチェック及び会議でのファシリテーションスキルのモニタリングを行い、改善点をフィードバックする。

(活動 2-4) 保健行政区および保健センタースタッフを対象とした子どもの栄養と IMCI に関する研修支援(今次事業)

3. 子どものケア支援ネットワークが構築される

保健センター運営委員・保健ボランティア・母子保健ボランティアとの定期会議を各保健センターにて実施し、情報共有の促進を図りながら、保健センターと村のネットワークを構築・強化する。

(活動 3-1) 保健センターにおける保健センター運営委員・保健ボランティア・母子保健ボランティアとの定期会議の支援

3-1-1. 会議での各村からの報告内容を標準化するためのフォーマットの作成と導入(第 1 年次事業で完了)

3-1-2. 保健センター運営委員・保健ボランティア会議(2 ヶ月毎)と母子保健ボランティア会議(3 ヶ月毎)の実施(今次事業も継続)

(活動 3-2) 保健ボランティアと母子保健ボランティアの村での情報共有の仕組み作り(今次事業)

(活動 3-3) 緊急にケアが必要な子どもが村にいた場合の照会に関する手順書や仕組み作り(今次事業)

4. 家庭での子どものケアの知識が向上する

保健ボランティア・母子保健ボランティアが、5 歳未満の子どもを持つ母親・養育者を対象として、家庭における適切な子どものケア実践を促進するための啓発活動を行い、農村の貧しい家庭でも実践できるような栄養教育を行う。

(活動 4-1) 保健ボランティア・母子保健ボランティアの小児ケアの知識の強化と、村での啓発活動の実施

4-1-1. 州保健局スタッフによる、保健行政区及び保健センタースタッフを対象とした、ボランティア用小児ケア教育計画ワークショップと講師育成研修(第 1 年次事業で完了)

4-1-2. 保健ボランティア・母子保健ボランティアが村で使うポスターや紙芝居などの IEC 教材(トピックは「衛生」、「母乳育児」、「IMCI」)の作成(今次事業)

4-1-3. 保健センタースタッフによる保健ボランティア対象の知識トレーニングの実施(今次事業)

4-1-4. 保健ボランティア・母子保健ボランティアによる 5 歳未満の子どもを持つ母親・養育者を対象とした子どものケア・栄養・衛生教育・啓発活動(村での保健教育、啓発キャンペーン、啓発看板の設置等)の実施(今次事業)

(活動 4-2) 母子保健ボランティアによる産後の母親に対する教育の実施

4-2-1. 教育活動の開始前と終了後に母親・養育者対象にしたテストの実施(第 1 年次事業と第 3 年次事業)

4-2-2. 保健センタースタッフによる母子保健ボランティアを対象にした小児栄養トレーニングの実施(今次事業)

4-2-3. 保健センタースタッフ、母子保健ボランティアによる村で手に入る食材による補完食・おやつ・おかずのレシピの開発(今次事業)

4-2-4. 開発されたレシピを使った栄養教育と調理実習の実施（今次事業）
 （活動 4-3）母子保健ボランティアによる家庭訪問とそのモニタリング（今次事業で継続）

5. 保健行政区との協働促進とモニタリング評価

保健センターにおけるサービスデリバリーを中心とした保健システムの強化は、保健行政区との協働で行われる。事業実施期間中、定期的に活動進捗および成果を共有し、双方で確認するためのモニタリング評価ワークショップを行う。また、第3年次には活動成果を州保健局や他の保健行政区と共有するイベントを開催し、成果の他地域への拡大を図る。

（活動 5-1）保健行政区スタッフとの協働による対象保健センターにて事業説明キックオフミーティングの実施（第1年次事業で完了）

（活動 5-2）保健行政区スタッフと半年に一度、活動進捗および成果を確認するモニタリング評価ワークショップの実施（今次事業で継続）

（活動 5-3）保健省が定める Special Operating Agency (SOA) であるタケオ州アンロカ保健行政区のマネジメントを学ぶためのスタディツアー（第1年次事業で完了）、他保健行政区に対してマネジメント改善の成果を伝えるスタディツアー（第3年次事業）

（活動 5-4）事業成果を関係者と共有する事業評価セミナーの実施。本事業の活動とそのプロセス・成果・レッスンをまとめた冊子の作成。冊子配布者へのアンケート調査の実施（本事業への理解度と小児ケアの改善意欲について）（第3年次事業）

（注）上記のワークショップや研修の際に提供する日当、交通費、茶菓子、文房具について

政府スタッフの日当・交通費は、活動の参加に伴って発生する食事や移動費を補助する為、政府が定めている金額に基づいて支給する。ボランティアの日当、交通費についても、活動の参加に伴って発生する食事や移動費を補助する為、現地の労働者の日払い賃金相場に基づいて支給する。これによって、活動に参加することにより生じる追加的な経済負担に対する心配を緩和することで、より積極的な活動参加が期待される。

茶菓子の支給は、会議や研修を実施する際に、間に休憩及び茶菓子を取ること、集中力を維持し、効果的な会議や研修を実施することが期待される。

文房具（ノート、ペン等）は、研修中にメモや重要な点を研修用に支給したノートに書き留めることで、紙やメモ帳を失くすことがなく、後に復習する際に役立つため必要である。

直接裨益者（合計人）：9,679人

- ・5歳未満の子ども 4,751人とその家族（主たる養育者）4,751人

- ・保健行政区スタッフ 5人

- ・保健センタースタッフ 30人（クポッタゴン：9人、アレアッタノー：7人、ピアムゴッスナー：8人、オームルー：6人）

※オームルー保健センター地域は自己資金にて支援。

	<ul style="list-style-type: none"> ・保健ボランティア 67人 (34村) ・母子保健ボランティア 75人 (34村) <p>間接裨益者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象保健センター地域の住民 40,469人 (34村) 																																																							
(6) 期待される成果と成果を測る指標	<p>プロジェクト目標である「村の養育者たちの小児ケアや子どもの摂食行動に対する意識が向上し、保健センターとコミュニティとの連携で適切なタイミングで子どもが小児保健サービスにアクセスできる」の達成度を以下の指標で測る。 ※成果指標は3つの保健センター（アレアッタノー、ピラムゴッスナー、クポッタゴン）を対象。</p> <p>プロジェクト目標に対する期待される成果を測る指標と目標値</p> <p>1. 保健センターでの適切な子どものケアサービス提供のための施設が整備される</p> <p>産後検診(PNC)4回目受診率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施前</th> <th colspan="3">目標値</th> </tr> <tr> <th>第1年次</th> <th>第2年次</th> <th>第3年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8.0%</td> <td>20.0%</td> <td>30.0%</td> <td>40.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 保健センターでの子どものケアの質が向上する</p> <p>身体測定 (GMP) 登録率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施前</th> <th colspan="3">目標値</th> </tr> <tr> <th>第1年次</th> <th>第2年次</th> <th>第3年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>44.0%</td> <td>60.0%</td> <td>80.0%</td> <td>90.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>保健センターにおける小児科サービス (GMP と IMCI) の技術チェックリストの平均点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施前</th> <th colspan="3">目標値</th> </tr> <tr> <th>第1年次</th> <th>第2年次</th> <th>第3年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N/A</td> <td>70.0点</td> <td>80.0点</td> <td>90.0点</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 子どものケア支援ネットワークが構築される</p> <p>身体測定 (GMP) 3ヶ月継続受診率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施前</th> <th colspan="3">目標値</th> </tr> <tr> <th>第1年次</th> <th>第2年次</th> <th>第3年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48.0%</td> <td>50.0%</td> <td>60.0%</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>保健ボランティアと母子保健ボランティアのテスト結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施前</th> <th colspan="3">目標値</th> </tr> <tr> <th>第1回トレーニングの事前テスト結果 ※第2年次</th> <th>第1回トレーニングの事後テスト結果 ※第2年次</th> <th>再トレーニングのテスト結果 ※第3年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>70.0点</td> <td>80.0点</td> </tr> </tbody> </table>	実施前	目標値			第1年次	第2年次	第3年次	8.0%	20.0%	30.0%	40.0%	実施前	目標値			第1年次	第2年次	第3年次	44.0%	60.0%	80.0%	90.0%	実施前	目標値			第1年次	第2年次	第3年次	N/A	70.0点	80.0点	90.0点	実施前	目標値			第1年次	第2年次	第3年次	48.0%	50.0%	60.0%	80.0%	実施前	目標値			第1回トレーニングの事前テスト結果 ※第2年次	第1回トレーニングの事後テスト結果 ※第2年次	再トレーニングのテスト結果 ※第3年次	N/A	N/A	70.0点	80.0点
実施前	目標値																																																							
	第1年次	第2年次	第3年次																																																					
8.0%	20.0%	30.0%	40.0%																																																					
実施前	目標値																																																							
	第1年次	第2年次	第3年次																																																					
44.0%	60.0%	80.0%	90.0%																																																					
実施前	目標値																																																							
	第1年次	第2年次	第3年次																																																					
N/A	70.0点	80.0点	90.0点																																																					
実施前	目標値																																																							
	第1年次	第2年次	第3年次																																																					
48.0%	50.0%	60.0%	80.0%																																																					
実施前	目標値																																																							
	第1回トレーニングの事前テスト結果 ※第2年次	第1回トレーニングの事後テスト結果 ※第2年次	再トレーニングのテスト結果 ※第3年次																																																					
N/A	N/A	70.0点	80.0点																																																					

	<p>4. 家庭での子どものケアの知識が向上する 定期予防接種受診率</p> <table border="1" data-bbox="341 235 1157 365"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施前</th> <th colspan="3">目標値</th> </tr> <tr> <th>第1年次</th> <th>第2年次</th> <th>第3年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>94.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>養育者の子どものケアに関する知識テストの結果</p> <table border="1" data-bbox="341 450 1157 580"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施前</th> <th colspan="3">目標値</th> </tr> <tr> <th>第1年次</th> <th>第2年次</th> <th>第3年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N/A</td> <td>N/A</td> <td>60.0点</td> <td>70.0点</td> </tr> </tbody> </table>	実施前	目標値			第1年次	第2年次	第3年次	94.0%	100.0%	100.0%	100.0%	実施前	目標値			第1年次	第2年次	第3年次	N/A	N/A	60.0点	70.0点
実施前	目標値																						
	第1年次	第2年次	第3年次																				
94.0%	100.0%	100.0%	100.0%																				
実施前	目標値																						
	第1年次	第2年次	第3年次																				
N/A	N/A	60.0点	70.0点																				
(7) 持続発展性	<p>1. 本事業は、対象地域の保健行政区スタッフ、保健センタースタッフが適切な保健サービスを継続して提供するための保健システムの強化を支援することに主眼を置いており、新しい仕組みや活動を導入するための事業ではないため、事業の取り組みが地域に根付き継続することが期待される。保健行政区や保健センターが自らの判断で使用できる予算が増加傾向にあり、以前は保健センタースタッフの自費で購入補充や修理していた医薬品等も政府予算で賄うようになり、贈与する保健設備や医療機器も現地保健当局が責任を持って維持管理することが可能である。</p> <p>2. 本事業の保健センター運営委員会議をとおして集合村（コミューン）との連携を強め、村で行われているボランティアの保健活動を共有しつつ、コミューンが村での保健活動を予算面で支援できるように働きかけ、保健ボランティアおよび母子保健ボランティアが事業終了後も保健センターや地域から支援を受けながら、活動を継続できるようになることを目指す。</p> <p>3. 事業最終年に、コンポンチャム州保健局、州内他の保健行政区スタッフ等に事業の成果を共有し、他の行政区でも活性化・強化できるようなモデルとして提示する。冊子にまとめたものを関係者に配布し、地域の保健行政が好事例として参考にできるかたちで残し、事業完了後の持続発展的な波及効果を目指す。</p>																						

(ページ番号標記の上、ここでページを区切ってください)